

＜堅く立つ事の祝福＞

I コリント 15 : 50 ~ 58

元ドジャーズ監督・トミー・ラソーダ

「可能か、不可能か。その違いは、その人の覚悟である」

堅い決意があるかないかで、その後のあり方や結果は変わってくる。

1 コリント 15 章は、イエスキリストの「再臨」について書かれている。

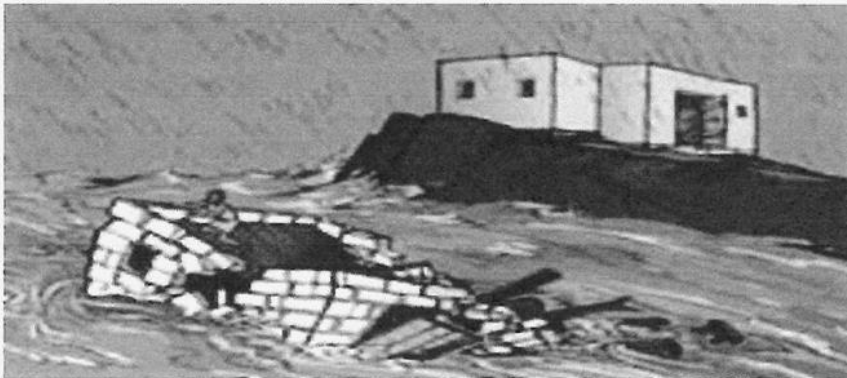
- ◆御子イエス・キリストは、救い主・メシヤとして、人として生まれ(初臨)十字架で死なれた。そして聖書で預言されていたとおり、キリストは三日目に復活し、40日間過ごされた後に、天に上げられた。このキリストが、世の終わりに、再びこの地に来られる。

ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに 励みなさい。
あなたがたは自分たちの労苦が、主にあつてむだでないことを知っているのですから。【58節】

イエス様のたとえ話を思い起す (マタイ 7章)

砂地の上に家を建てた人

岩の上に家を建てた人



どちらも立派な家。何もない時はその違いはわからない。

しかし嵐や洪水がやってくると…

岩の上に建てた家はびくともしなかった / 砂地に建てた家は、簡単に壊れた。

災いにあつて「土台の違い」が露わにされた。

＜イエス様＞

わたしの話したことを聞いて、それを行なう人は、岩の上に自分の家を建てた賢い人 マタイ 7:24

わたしのこれらのことばを聞いてそれを行わない者は、砂の上に自分の家を建てた愚かな人

マタイ 7:26

どちらもおなじように、神のことばを聞いた。

しかし、一方は聞いたことばを信じて従い、行った。

しかし、もう一方は、聞くには聞いたが、信じず、従わず、行わなかった。

<神の約束に堅く立つ> 民数記13章

ヨシュアとカレブが約束の地を偵察に行った時に、産物を持ち返るため、ぶどうを一房切り取った。その場所をエシュコルの谷と呼ぶ。

エシュコル → 一房の意味。

12人の斥候が約束の地（現：パレスチナ地方）を偵察。

「あの地は大変素晴らしい！」

10人・・・しかし「あの地の民は自分たちより強い。

絶対に勝てない。私たちは攻め上ることはできない。

ヨシュアとカレブ・・・「主が私たちと共におられるのだから、大丈夫。私たちは攻め上ることが出来る。彼らを恐れてはならない。」



この違いはどこからくるのだろうか？

- ◆みことばに堅く立つとは、単に聖書の知識を頭に詰め込むことではなく、神のことばが、その人自身の内で生きて、その人の信仰に結びついて、その信仰がその人の生きかたを形づくっていくこと。

神の側にも固い決意があった？！

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。 ヨハネ3：16

全ての人のために用意された「神の救いの計画」この壮大なプロジェクトを全うするための堅い決意。

自分たちの労苦が、主にあってむだでない・

自分が向かう目的地、ゴールがはっきり分かっているから！

イエス様が再臨され、そこに自分も迎えられる。

永久に死を滅ぼされる。神である主はすべての顔から涙をぬぐい、ご自分の民へのそしりを全地の上から除かれる。主が語られたのだ。その日、人は言う。「見よ。この方こそ、私たちが救いを待ち望んだ私たちの神。この方こそ、私たちが待ち望んだ主。この御救いを楽しみ喜ぼう。

イザヤ25：8、9節